

令和2（2020）年度

地域学校協働活動推進員養成研修① 実施報告

実施日：令和2（2020）年6月12日（金）

本研修は、「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」事業の一環として行われます。学校を支える地域の仕組みづくりを促進していく人材の育成を目的として、来年2月までの全6回の内容で行われます。



説明・協議「地域学校協働活動推進員の役割」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課 副主幹 和久 真

学校と地域が連携・協働する必要性について、学校と地域の双方の視点から改めて確認し、地域学校協働活動を推進していくために、地域学校協働活動推進員がどう関わるべきか、その役割についての説明がありました。受講者は、特に学校と地域が目標や目的を共有していくことの重要性について理解を深めました。

講話「これからの学校と地域の連携・協働」

宇都宮大学 共同教育学部 教授 陣内 雄次 氏

地域学校協働活動の基本的な内容を押さえた上で、受講者一人ひとりが、それぞれの立場で、学校と地域の協働のあるべき姿について考えました。そして、あるべき姿をどう具現化し、地域学校協働活動推進員がどのように関わっていくべきかについても考えました。その上で、陣内氏から、自らの考えや学校と地域の連携・協働に向けての押さえるべきポイントについてもお話いただきました。

事例などを交えながら、受講者の活動のヒントにつながるような話題の提供もありました。知識習得だけでなく、活動への意欲喚起にもつながる内容で、実践につながる学びとなりました。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者同士の距離の確保や、接触の伴わない演習のみでの研修実施でしたが、講師の皆様、受講者の皆様の御協力のもと、第1回を無事に終了することができました。

今後も、状況に合わせて研修を実施してまいります。引き続き、御協力をお願いいたします。

【受講者の感想から】

- 「地域学校協働活動推進員」についての概要、活動そのものについての全体像が少し見えてきたように思います。
- コーディネーターとして、一人で動くことが大変なこともあるので、ネットワーク化ということがすごいなと感じました。
- 「連携」「協働」の概念が、よく理解できました。
- 地域の資源をよく知り、子どもたちの幸せな学びにつなげたいと思いました。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp